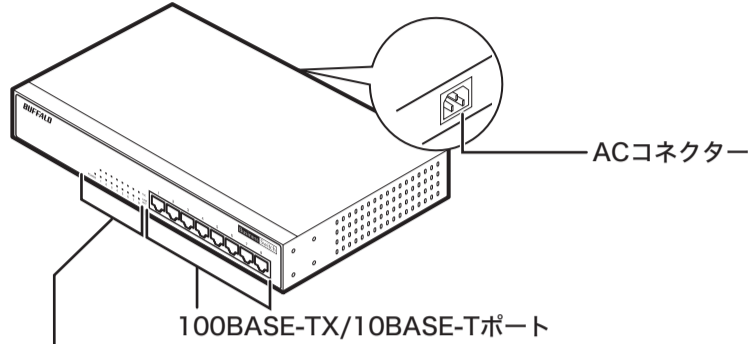
BUFFALO 35004505 ver.02 2-01 C10-013

BSL-PS-2108MR かんたん設定ガイド

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1 パッケージ内容

パッケージには、次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□スイッチ（本体）……1台

インジケーター

POWERランプ（緑）
点灯　:電源ON　消灯　:電源OFF

LINK/ACTランプ（緑/橙）
緑点灯:100Mリンク確立時
橙点灯:10Mリンク確立時
点滅　:データ送受信時

PoE（緑/橙）
緑点灯:PoE給電中
橙点灯:負荷が規定値を超えたとき、または回路の短絡を検出したとき
橙点滅:全体の電力供給量が最大に達したとき
消灯　:PoE非給電中

□電源ケーブル（AC100V用）……1本
□3P-2P 変換コネクター……1個
□ゴム足……4個
□19インチラック取付金具……2個
□取付金具固定用ネジ……8本
□19インチラック取付用ネジ……4本
□かんたん設定ガイド（本紙）……1枚
□安全にお使いいただくために必ずお守りください（保証書つき）……1枚
□BSLシリーズユーティリティCD……1枚
□シリアルNo シール……2枚

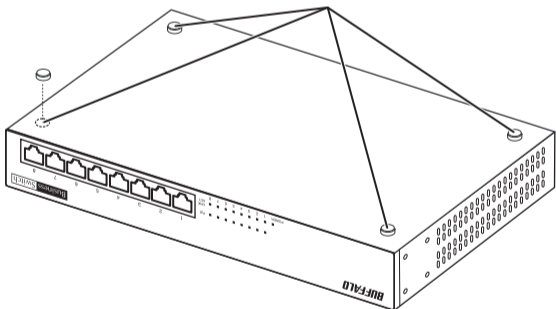
※本製品は、本紙によってセットアップや設定ができるため、冊子のマニュアルは添付しておりません。本紙よりも詳細な情報が必要な場合は、BSLシリーズユーティリティCD内の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

本製品は、RoHS指令準拠モデルであり、RoHS指令に準拠していないモデル（以下、非準拠モデル）と区別するために、製品名の末尾が「R」になっております。
ただし、マニュアルや設定画面、フロントパネルについては、非準拠モデルと共通のものを使用しておりますので、製品名末尾の「R」は記載しておりません。あらかじめご了承ください。
※本製品の使用方法や機能は非準拠モデルと同じですので、添付マニュアルを参照してください。
※RoHS指令についての詳細は、弊社ホームページ（http://buffalo.jp/environment/）を参照してください。

ステップ2 設置について

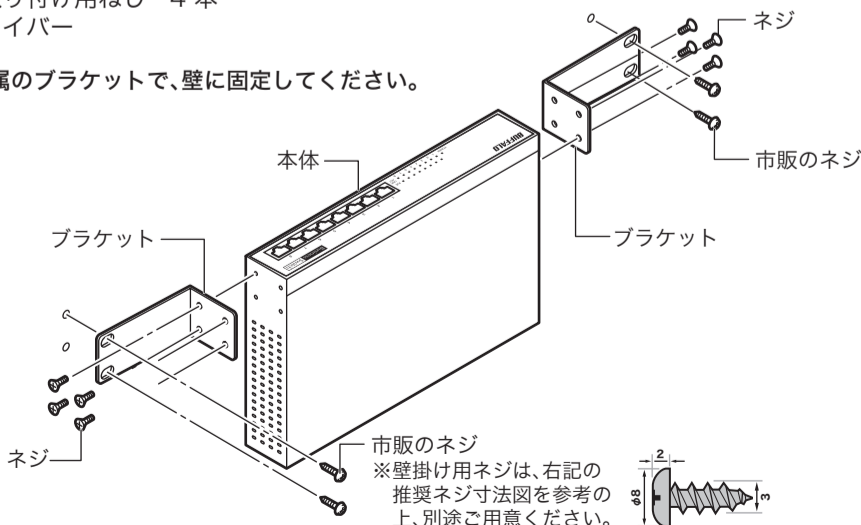
本製品は、平らな場所に設置したり、壁に固定することができます。

平らな場所に設置する

本製品の底面に、付属のゴム足4個を取り付けます。

⚠注意 **・AC電源に近い平らな場所に本製品を置き、本製品の周囲に通気のためのスペースを5cm以上確保します。**
・本製品を積み重ねて使用しないでください。

壁に固定する

本製品を壁に固定する場合は、付属品以外に次のものが必要です。
・壁取り付け用ねじ　4 本
・ドライバー

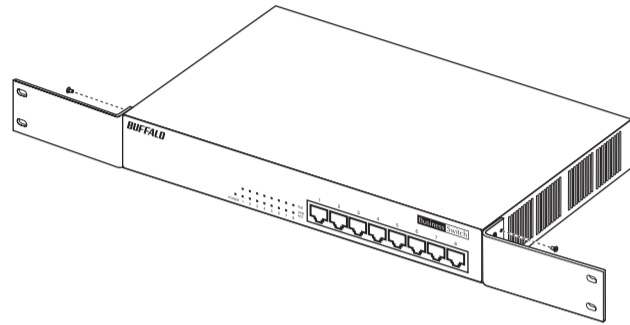
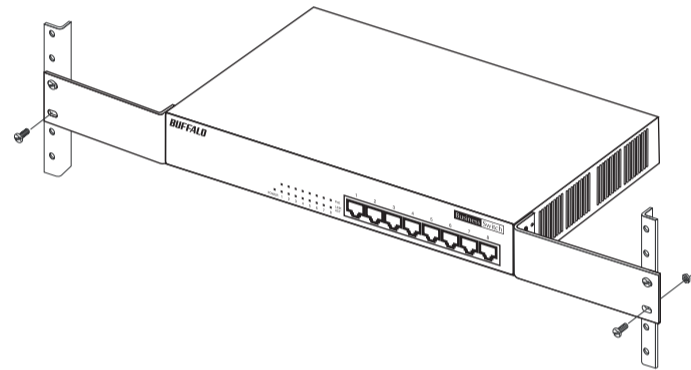
付属のブラケットで、壁に固定してください。

マグネットキット（別売:BS-MGK-A）を使うとスチール製の机や棚に設置することができます。

19インチラックに取り付ける

本製品をラックに取り付ける前に、次の点に注意してください。

⚠注意 **・ラック内の温度は室温より高くなりやすいため、ラック環境の温度が指定された動作温度範囲（「製品仕様」（うら面））であることを確認してください。**
・ラックに取り付けた装置の上に他の装置を積み重ねないでください。
・ラックに電力を供給する回路が過負荷にならないようにしてください。
・ラックに取り付けた装置は、適切にアースされていなければなりません。供給電源接続時は、主電源への直接接続時以上に注意してください。

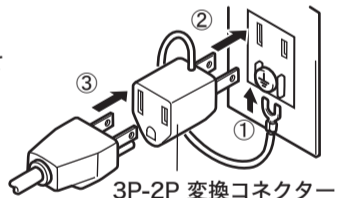
次の手順でラックに固定してください。

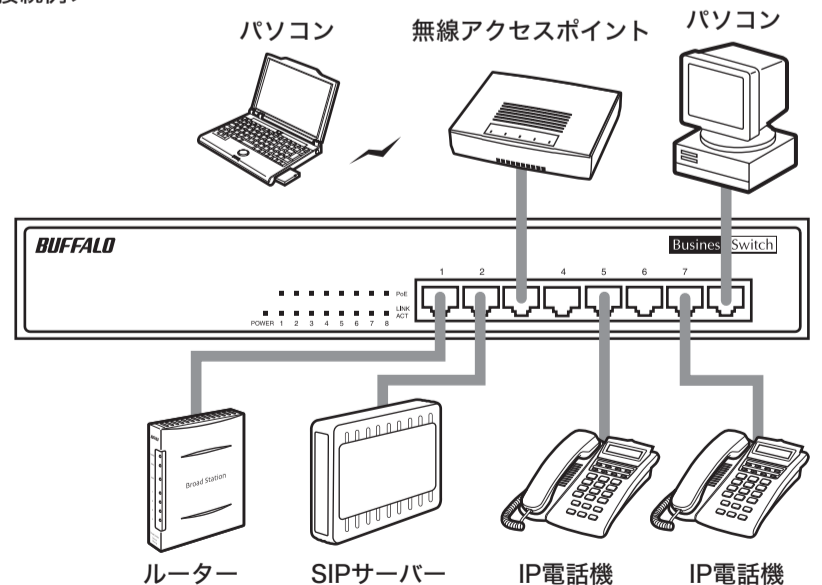
1 付属のねじで金具を本製品側面に取り付けます。
底面にゴム足を付けている場合は、取り外します。

2 添付のねじ4本で、本製品をラックに固定します。

ステップ3 セットアップする

本製品のセットアップは、以下の手順でおこないます。
※このステップでは、「QoS簡易設定」でIP電話などのプライオリティの設定をおこないます。下記の環境以外でお使いの場合は、BSLシリーズユーティリティCD内の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

1 付属の電源ケーブルを使って、本製品をコンセントに接続します。

2 前面パネルのPOWERランプが点灯していることを確認します。
POWERランプが点灯しない場合は、電源ケーブルが正しく接続されているかどうかを調べてください。

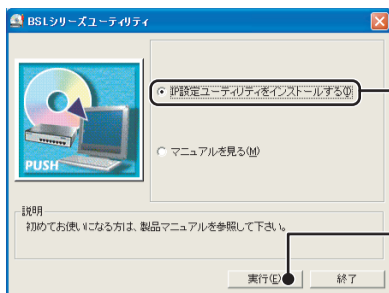
⚠注意 ACコンセントが２極のとき
付属の3P-2P変換コネクターを使って、ACコンセントに接続します。感電防止のため、アース線は必ず接地してください。
アース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。アース線がコンセントや他の電極に接触しないようにしてください。

3 LANケーブル（別売）で、本製品、認証サーバー、ファイルサーバー、パソコンを接続します。
ケーブルを接続したポートのLINK/ACTランプが点灯することを確認してください。
※認証サーバーを使わない場合は、手順**4**以降をおこなう必要はありません。

<接続例>

※本紙では、上記<接続例>の場合の設定手順を説明いたします。
※PoE機能で供給できる電力は、8ポート全体で60Wまでです。詳細は、BSLシリーズユーティリティCD内「ユーザーズマニュアル」の「第１章　製品概要」－「ネットワーク電源供給（PoE）」を参照してください。
※本製品とPoE給電機能に対応したハブをカスケード接続する場合、カスケードするポートの給電機能をOFFにしてお使いください。

うら面へつづく

4 管理者パソコンを起動します。

5 「BSLシリーズユーティリティCD」を管理者パソコンにセットします。

6 「BSLシリーズユーティリティ」が表示されます。

①「IP設定ユーティリティをインストールする」を選択します。

②[実行]をクリックします。

7 インストーラーが起動しますので、[OK]をクリックします。

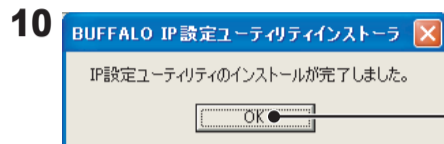
8 使用許諾契約を読み、同意できる場合は[同意]をクリックします。

9 [次へ]をクリックします。

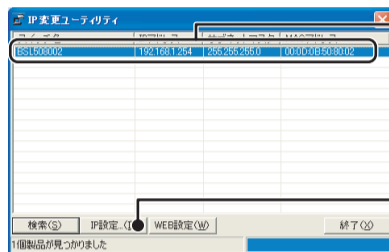
10

BUFFALO IP設定ユーティリティインストーラ

IP設定ユーティリティのインストールが完了しました。

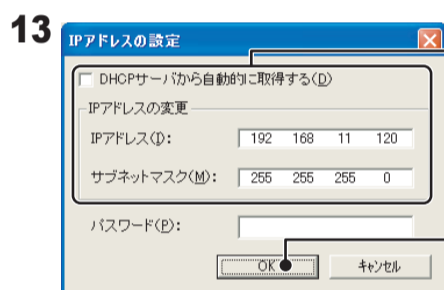
OK

[OK]をクリックします。

11 「スタート」−「(すべての)プログラム」−「BUFFALO」−「BSLシリーズユーティリティ」−「IP設定ユーティリティ」を選択して、IP設定ユーティリティを起動します。

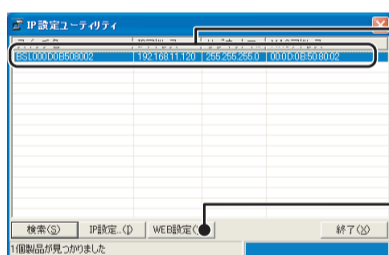
12 本製品が検索されます。

① 本製品を選択します。

②[IP設定]をクリックします。

※ファイアウォール機能が有効となっている常駐ソフトがインストールされていると、検索ができないことがあります。

13

① 本製品に設定するIPアドレスを入力します。

②[OK]をクリックします。

14 本製品のIPアドレスが変更されたら、設定画面を表示します。

① 本製品を選択します。

※DHCPサーバーからIPアドレスを取得する設定にした場合、IPアドレスの取得にしばらく時間がかかる場合があります。IPアドレスが、「0.0.0.0」と表示されているときは、[検索]をクリックして、再度本製品を検索してください。

②[WEB設定]をクリックします。

15 ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、

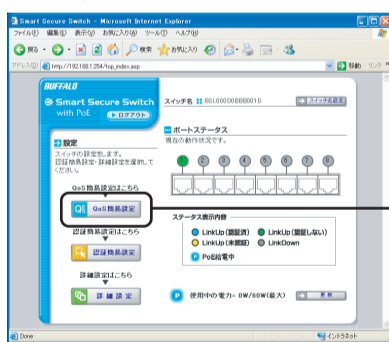
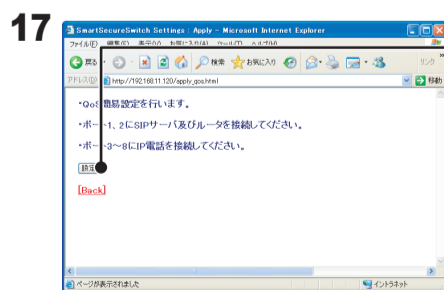
「ユーザー名」欄　→admin(小文字)

「パスワード」欄　→空欄

と入力して、[OK]をクリックします。

16 設定画面が表示されます。

「QoS簡易設定」をクリックします。

17

[設定]をクリックします。

QoS簡易設定で自動設定される項目は以下の通りです。

QoS　:ON

スケジューリング:strict

CoS　:0〜3は「低」、4〜7は「最高」

TOS　:0〜3は「低」、4〜7は「最高」

ポートベース　:1,2ポートは「最高」
3〜8ポートは「低」

ストームコントロール
:全ポート64kbps

以上で、設定は完了です。

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

万一、障害が発生したときは次の対策を行ってください。

・本製品とテレビやラジオの距離を離してみる。

・本製品とテレビやラジオの向きを変えてみる。

困ったときは(電子マニュアルを見る)

本製品の詳細設定画面の説明やトラブルシューティングの内容をご覧になりたい場合は、下記の手順でユーザーズマニュアルを参照してください。

1 「BSLシリーズユーティリティCD」をパソコンにセットします。

2 「マニュアルを見る」を選択して、[実行]をクリックします。

3 「ユーザーズマニュアル」が表示されます。

仕様

■製品仕様

LANインターフェイス	IEEE802.3(10BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)準拠
伝送速度	10/100Mbps
スイッチングデータ転送方式	ストア&フォワード
伝送路符号化方式	マンチェスターコーディング(10BASE-T) 4B5B/MLT-3(100BASE-TX)
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度 (スループット)	14881パケット/s(10BASE-T) 148810パケット/s(100BASE-TX)
レイテンシー (100Mbps、64bytes時)	平均2.1μsec(S&F) 平均7.2μsec(CT)
スイッチファブリック	1.6Gbps
バッファー容量	256kB
アドレステーブル	4096件
ポート数	8ポート(全ポートAUTO-MDIX対応)
適合ケーブル	カテゴリー3以上　4対UTP/STPケーブル(10BASE-T) カテゴリー5以上　4対UTP/STPケーブル(100BASE-TX)
伝送距離	100m
コネクター形状	RJ-45型モジュラージャック
電源電圧	AC100V　50/60Hz
消費電力/消費電流	最大80W/最大1.9A
PoE最大供給電力	60W(最大)
外形寸法	W266×H44×D162mm
重量	1.8kg
動作環境	温度:0℃〜40℃　　湿度:10%〜90%(結露なきこと)
取得規格	VCCI　ClassA

※本製品の設定画面を表示するには、WindowsパソコンでInternet Explorer6.0以降がインストールされている必要があります。

■主な出荷時設定

分類	項目	初期値
QoS設定	QoS機能	ON(有効)
	キュースケジューリング	WRR
	CoS優先度	0、3:普通、1、2:低、4、5:高、6、7:最高
	ToS優先度	0〜7全て低
	ポートベース優先度	1〜8全て低
PoE設定	最大電力	60000mW(変更不可)
	パワーマージン	10W
	PoE有効化	全ポートON(有効)
	優先度	全ポート低
管理/本体設定	スイッチ名	BSL************(*はMACアドレス)
	IPアドレス	192.168.1.254
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
	DHCPモード	無効
	管理ユーザー名	Admin(変更不可)
	パスワード	なし

※その他の項目については、BSLシリーズユーティリティCD内の「ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

BSL-PS-2108MR かんたん設定ガイド
2009年 3月 16日　第2版発行　発行 株式会社バッファロー